

地球環境を考えるトークイベント2022冬

# 世界を幸せにする「緑化」 成功への秘訣

人為的な伐採、自然災害による消失など、世界の森林は荒廃の一途を辿っています。タイやインドネシアの消失したマングローブ林、フィリピンのはげ山、内モンゴルの拡大する沙漠、東日本大震災で壊滅した海岸林。オイスカは、こうした地域で10年、20年という長い年月にわたり活動を続けてきました。これらの持続可能な取り組みのカギは、「地域住民」との向き合い方にあります。

オイスカは、今後10年の一大プロジェクトとして、20世紀最大の環境破壊と言われるウズベキスタンのアラル海で4万ヘクタールの沙漠緑化に挑んでいます。

本イベントでは、ウズベキスタンのプロジェクトを例に、SDGsの本道を貫く「オイスカの緑化」の神髄を明らかにします。

日時 **11月26日(土)**  
14:00~16:00

場所 **さいたまスーパーアリーナ4階**  
**TOIRO スペース4**  
(さいたま市中央区新都心8)

参加費 **無料**



この事業は、国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成を受けて実施しています。

ウズベキスタンのアラル海は、過度の灌漑が原因で60年前の10分の1ほどまで面積が低下。干上がったアラル海の湖底には、塩が白く浮き上がっている。強風で巻き上げられた塩分を含む砂により、周辺住民の呼吸器系の健康被害が発生している。





専門は森林科学で、山地の土砂災害について研究する第一人者。森林保全や治山・治水など、広範囲に緑化に携わってきた専門家の立場からコメントいただけます。

東京都出身。東京大学農学部卒業後、東京農工大、東大、東京農業大で森林環境学、森林水文学、治山・砂防学の研究・教育に約40年携わる。この間、砂防学会、日本森林学会、日本緑化工学会の会長および日本学術会議会員を務めたほか、「東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会」座長を務めるなど、国や都県の関連行政機関とも関わる。現在はFSCジャパン代表、みえ森林・林業アカデミー学長、かわさき市民アカデミー理事長、さいたま緑のトラスト協会理事長などを務める。著書多数で、『森林飽和ー国土の変貌を考える』(NHK 出版)は分野を越えて多くの人に読まれている。



内モンゴルでの植林プロジェクトを統括した経験をもとに、ウズベキスタンでの緑化事業について語ります。

中国内モンゴルで2001年から沙漠化防止活動を開始し、1,400ha、207万本の緑化を行う。2015年からウズベキスタンでもスタート。地元農牧民と漢方薬の栽培を行いながら、塩害や沙漠化防止の研究も行う。専門は林学、土壌学(農学博士)。千葉大学非常勤講師



緑化事業全般に携わる立場から、オイスカとしての緑化の姿勢、各国の事例について語ります。

海外事業部 調査研究担当部長  
緑化をはじめとした環境保全事業の責任者。海外におけるマングローブ、海岸林、山の緑化を長年担当。開発学修士

▶参加方法のご案内 会場参加またはオンラインでの参加をお選びいただけます

【会場参加】

さいたまスーパーアリーナ4階  
TOIRO スペース4  
(さいたま市中央区新都心8)

- ・JR京浜東北線、宇都宮線・高崎線「さいたま新都心駅」下車 徒歩3分
- ・JR埼京線「北与野駅」下車 徒歩7分

\*さいたまスーパーアリーナの2階、Bゲート近くのロビー用エスカレーターをお上がりください。



【オンライン参加】

オンラインでの配信を予定しています。オンライン参加をご希望いただいた方には、11月25日までにメールでURLを送らせていただきます。

参加申込書



←こちらのQRコードから  
もお申込みいただけます

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/2a118c11511671>

申込締切 **11月18日(金)**

お名前		所属	
部署名		役職	
ご住所	〒		
メールアドレス		電話番号	
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加		

\*いただきました個人情報は、当法人からの各種案内の送付等に使用させていただきます。予めご了承の上、お申し込みください。利用目的の詳細はホームページ(<https://oisca.org/privacy-policy/>)をご確認ください。

FAX送信先

**03-3324-7111**

メールでお申込みの場合は、上記の内容をお送りください  
宛先 ▶ [gsm@oisca.org](mailto:gsm@oisca.org)